

松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展

明石藩の世界

同時開催 「江戸時代のやきもの」展



火事頭巾 (黒田家旧蔵資料)

2012年9月8日[土]～23日[日] 月曜日休館

開館時間：AM9:30～PM6:30 (入館は閉館の30分前まで)

観覧料：大人 200円 大高生 150円 中小生 100円

(20名以上の団体は2割引 高年手帳等 (65歳以上)・障害者手帳提示にて半額)

主催：明石市、明石市立文化博物館、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター、日本陶磁協会明石後援会

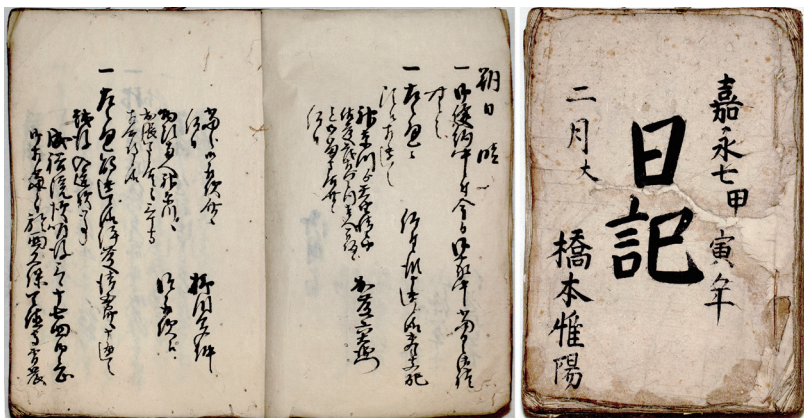
明石市立文化博物館

明石藩の世界

第二次世界大戦におけるアメリカ軍の空襲による焼失などさまざまな原因で、江戸時代明石藩に関する歴史資料はあまり多く残っていません。このことは明石藩史研究を進めるうえで大きな障壁になっています。

そのような中、平成二四年六月に旧明石藩主の松平家ならびに旧明石藩家老の黒田家にゆかりをもつ方から、それぞれの家に伝来したたいへん貴重な資料一式を明石市にご寄贈いただきました。工芸品、美術品、古文書などその数はおよそ一七〇〇点にもおよびます。

今回は、受贈した資料の中から、比較的保存状態の良い物を中心に速報展として展示し、江戸時代後期から幕末期の明石藩の動向や明石藩主ならびに藩士の暮らしぶりの一端をご紹介します。



嘉永7年2月明石藩江戸屋敷日記（松平家旧蔵文書）



慶応4年黒田長保日記（黒田家旧蔵文書）



金地漆研出鞘脇差と葵紋付刀掛台（黒田家旧蔵資料）



緋半月前立兜（黒田家旧蔵資料）



葵紋入朱塗小長持（松平家旧蔵資料）

同時開催 「江戸時代のやきもの」展

黒田家旧蔵資料にも明石焼、舞子焼といった地元のやきものが数多く含まれていました。そこで今回は、日本陶磁協会明石後援会の協力により、それらの一部とともに、江戸時代に兵庫県内の諸窯で作られ、現代まで伝世してきた個人コレクションを中心とした陶磁器を約50点展示いたします。

また、県内で現在活躍している陶工の作品も併せて紹介いたします。



「赤石」印付明石焼片口碗（黒田家旧蔵資料）

関連イベント

【講演会】「黒田家文書「日記」からみえる幕末の明石藩」

日時 9月15日（土） 14:00～15:30
 講師 前田結城氏（神戸大学大学院学術推進研究員）
 会場 文化博物館2階大会議室
 受付 9月4日（火）9:30～（先着80名電話受付）
 TEL 078-918-5400 明石市立文化博物館



【交通アクセス】
 電車/JR・山陽電車明石駅より北へ徒歩5分
 車/第2神明大蔵谷出口より南西へ10分、
 第2神明伊川谷出口（東行きのみ）より南へ10分
 【駐車場（有料）】
 1時間につき100円、1時間未満の端数は1時間とします。駐車場数は32台です。
 ※公共交通機関、または近隣の有料駐車場（地図参照）をご利用ください。
 ※マイクバス等でのご来館は、事前にお問い合わせください。

明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号 TEL.078-918-5400
<http://www.akashibunpaku.com>